

○ 本校の概要

・児童一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させるために学習規律を整えるとともに、ICTを活用するなどわかりやすい授業の実現をめざし、学校全体で日常的な授業改善に力を入れている。  
 ・「スクールサポートにしるく」と連携し、六郷地域の文化や自然を教材化し、地域の特色を生かした学習活動を展開している。  
 ・「保育園との交流」(1年)、「町たんけん」(2年)、「とんび風づくり」(3年)、「福祉体験」(4年)、「夢の教室」(5年)、「日本の伝統文化を学ぶ」(6年)、「戦争体験に学ぶ」(6年)学習など、地域や社会の方々と交流をとおして学ぶ機会をもっている。  
 ・西六郷小学校少年合唱団の発足の地であり、現在も西六郷小学校合唱部と西六郷少年少女合唱団として活動を続け、歌声の響く学校として地域からも愛されている。  
 ・校内研究を通して外国語活動・外国語科の指導方法について研修を深め、コミュニケーションを図る楽しさを実感できる児童の育成を目指している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	コメント
プラン1 生きている未来の社会の変化に 子どもに力と自信を身に付けます。	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化に なやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とコミュニケーション能力の育成を図っている。  学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。  体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	児童アンケートで「すすんで友達と考えを伝え合っている」と回答した児童の割合	4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	・外国語活動に関しては、校内研究を通して、児童が英語に親しみ、進んで会話をしたくなる授業づくりを進めてきた。高学年が教科として外国語を学ぶことから、適切な評価の在り方についても深めていきたい。 ・ICTサポーターと連携して、どの学年でもタブレットPCを活用した授業に取り組んでいる。各教科や領域のねらいに沿って適切に活用できるよう、学校全体の計画を立てていく。 ・体力テストの結果から本校の課題を捉えたと共に、課題に対応した運動例などを紹介し、一学級一実践などに生かしていく。	・未来を担う児童が英語に親しみ、どの学年もタブレットPCを活用することにおいて、子供達の世界が今よりもっと開けることになり、素晴らしいことだと思う。 ・進歩、変化の激しい社会の内では、英語、ICT技術と知識は実生活に欠かせないもの。しっかり身につけてほしい。 ・ICTの導入も大変だと思いますが、うまく使っていたいです。 ・児童の90%以上が積極的な関わりをもっていると感じているのは素晴らしい。 ・6年生の英文がしっかりとできて素晴らしいと感じました。
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。  算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。  学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。  授業改善推進プランを、授業に生かす。  「学習スタンダード」を中心に全校で統一した学習規律を徹底し、集中して学べる環境を整える。	児童アンケートで「得意だと思う教科がある」と回答した児童の割合	4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	・算数では、東京ベシックドリルを学期始めに行うことで、つまずきの多い学習内容を把握し、指導に生かしている。また、単元ごとに「確かめプリント」でどのくらい学習内容が身に付いたかを確認し、放課後補習で基礎基本を補っている。 ・2学期には、授業改善推進プランを生かした授業を指導案を立てて行っている。 ・今後も「分かり、できる」楽しさを味わえるよう、1時間1時間のねらいをはっきりとさせて、授業を行う。	・評価の結果、素晴らしい。勉強することが楽しいという子供が多いということは先生方のご指導、接し方が素晴らしい。努力の成果です。 ・「得意だと思う教科がある」と答えた子供が95%、先生方のご努力によるものだ! ・先生方のきめ細かい指導が、児童に反映して成果を上げている。 ・放課後補習は大変なことだと思います。つまずきがないように、先生方は大変ですが、ぜひ取り組んでほしい。 ・楽しく授業を受けているようです。 ・素晴らしいと思います。先生の努力に感謝します。
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高め、 自他の生命を尊重する心 を育成するなど、 未来への希望に満ちた 豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。  道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。  学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。  学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。  問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。  運動会・音楽会・展覧会などの学校行事を通して、児童に目標を達成する喜びを味わわせると共に、互いに高め合い協力する態度を育てる。	児童アンケートで「友達は大切だと思う」と回答した児童の割合	4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	・全教員で全児童を見守ることを基本に、「悩みごとは一人で抱え込まずに、信頼できる大人の人に相談しよう」ということを学期始めなどに呼びかけている。 ・友達関係の不安や悩みを始め、生活面の問題について、教員同士も情報を共有し、多くの目で見守るようにしている。また、必要なときには、校長、副校長、生活指導主任、学年担任などが集まり、よりよい解決方法を話し合い、対応している。 ・学校行事では、学年に応じて、一人一人に目標をもたせ、努力を積み重ねて達成できたときの喜びを味わわせるようにしている。児童の頑張りを認め励ましながら、成長を振り返る時間を大切にしている。	・西六小の特色である音楽への取組がとても良いと思います。 ・西六小の音楽を親しむ心は、これから子供達の豊かな心を育てていけると思っていますので、ぜひ、これからも音楽、歌うこと、聴くことを大切にしていきたい。 ・子供達が明るく素直で優しいと感じています。 ・人として「相手の身になって考える」豊かな心が備わっているようです。 ・中学生の生徒のいじめ等々に依る自殺が後絶たない昨今、幼児・児童のときから、友達は大切だと思う心をしっかり身に付けてほしいものです。 ・まず自分自身を大切にできる一人一人への関心→自他共に助け合って成長できると思っています。
プラン4 体力増進の向上と健康の	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による 体力の向上など、 生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。  給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。  体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。  オリンピック・パラリンピック教育を推進し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を培う。	保護者アンケートで「学校は健康からだ」と回答した保護者の割合	4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	・「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組では、保護者の皆様にもコメントをいただき、親子で生活習慣について考えていただいた。今後も家庭と連携して進めていきたい。 ・体育の学習やなわとび週間、持久走週間などを通して、友達と一緒に楽しく運動する姿が見られる。今後も安全な場を確保しながら、運動の楽しさを味わわせていく。 ・オリンピックを招いて、自己の経験に基づいたお話をいただく中で、夢をかなえるための努力の大切を感じる事ができた。	・正しい生活習慣をつけることは、いろいろなものにかかわっているため、これからも大切にしていきたい。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」は子供達にとってすごく大切なことになっていきます。 ・子供達が成すべきことを達成するために、心身とも健全であることが必要です。小学校での学びは社会人になってからも身に付いているものと思う。 ・体育の時間に縄跳びなど友達と一緒に楽しく遊んでも、地域の公園等では規制が多すぎ、縄跳びの練習すらままならない。我々地域で、公園のあり方々々を行政に働きかけたい。
プラン5 魅力ある教育環境	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、 教員の指導力向上と良質な教育環境をつくります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。  授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。  各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。  校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	保護者アンケートで「学校は、分かりやすい授業に努めている」と回答した保護者の割合	4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	・教員一人一人が自分の専門性を生かして、研修・研究の成果を伝える機会をもち、授業に生かすことができた。 ・特別支援教育コーディネーターが中心に、子どもたちの困っていること等について情報を集め、一人一人に合った支援の在り方を話し合っている。	・学校の様々な努力が児童、保護者から支持され、保護者からの学校への信頼が伺える。 ・子供が興味をもって取り組んでいくように、教職員の方々の努力、良質な教育環境をつくっていると思う。 ・子供達に日常的に優しく寄り添いながら指導している様子が伺えます。 ・支援級の児童への対応が良いと思います。 ・いつも工夫して授業していただいています。 ・今後も先生方のご努力、ご尽力をお願いしたい。
プラン6 なごやかな学校・家庭・地域が一体と	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、 地域に開かれた教育の実現を目指します。 また、相互の連携を深め、 子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。  地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。  学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。  地域人材をゲストティーチャーとして招いたり、地域に出て学ぶ授業を設けるなど、地域に親しみを感じながら学ぶ機会を設定する。  宿題や家庭学習の手引きを活用し、家庭の協力を得ながら、子供の家庭学習を充実させる。	保護者アンケートで「PTA活動やスクールサポートにしるくなど、学校・家庭・地域が相互に連携し、子どもの育ちを支える仕組みを活かしている」と回答した保護者の割合	4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	・スクールサポート西六にコーディネートを依頼することで、校外学習をはじめとする授業の補助や、夏休みわくわくスクールの運営など、様々な教育活動が豊かなものになった。 ・学校の教育活動の様子をこまめにホームページに掲載している。今後は担当者だけでなく、学年ごとに更新できるように環境を整備していく。 ・地域教育連絡協議会では、教育活動の様子や分かる資料を用意することで限られた時間を有効に使って情報共有している。今後は、話題になったことを教職員全体に知らせるよう努める。	・学校、保護者、地域がとても上手に回っているといつも感じている。 ・全体的に教育の質に関し、常に向上意識があることが見えます。今後ともよろしく願いいたします。 ・地域でよくスクールサポート西六コーディネーターの方を見かけています。 ・地域などで入ってきた情報については共有できるように連絡していきたいです。 ・個人として皆同じでないように、家庭も各々違いがあるのは当然のことと思いますが、子を思う気持ちは共通のもので、三者が願うのも共通のもので、小学校PTA、スクールサポート西六以外に、地域の我々はどうな協力ができるか、また、どんな協力をしてほしいのか、今後の課題として検討してみたい。 ・PTAとしてもこれからも協力していきたいと思っています。 ・質疑応答の時間を、より充実していただけたらと思います。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。  
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。  
 ○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である